

景気の動き

四 国（四経連「景気動向調査」結果）

項目	6月調査	前回（3月）調査
調査結果の概要	四国の景気は、持ち直しの動きが続いている。	同左
経営者の景況感	明るさが続いている	同左
生産	持ち直しの兆しが見られる	弱含みの動きが続いている
輸出	持ち直しの兆しが見られる	弱含みの動きが見られる
在庫	横ばいとなっている	ほぼ横ばいとなっている
企業業績	良好に推移している	改善が進んでいる
設備投資	堅調に推移している	同左
雇用	良好な状況となっている	同左
個人消費	全体として回復が続いている	全体として回復している

〔四国経済連合会 2024年6月24日発表〕

全 国（月例経済報告・内閣府）

項目	6月月例	5月月例	
基調判断	景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。 （先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。）	同左	
個人消費	持ち直しに足踏みが見られる	同左	
設備投資	持ち直しの動きが見られる	同左	
住宅建設	弱含んでいる	同左	
公共投資	底堅く推移している	堅調に推移している	
輸出入	輸出	持ち直しの動きに足踏みが見られる	同左
	輸入	おおむね横ばいとなっている	同左
	貿易・サービス収支	赤字となっている	同左
生産	このところ持ち直しの動きが見られる	一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、生産活動が低下していたが、このところ持ち直しの動きが見られる	
企業	収益	総じてみれば改善している	同左
	業況判断	改善している。ただし、製造業の一部では、一部自動車メーカーの生産・出荷停止による影響が見られる	同左
	倒産件数	増加が見られる	同左
雇用情勢	改善の動きが見られる	同左	
物 価	国内企業物価	このところ緩やかに上昇している	同左
	消費者物価	緩やかに上昇している	同左

〔内閣府 2024年6月27日発表〕